

2022年度 日本工学院専門学校											
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース											
作詞・作曲 1											
対象	1 年次	開講期	前期	区分	必修	種別	実習	時間数	30	単位	2
担当教員	下條慧			実務 経験	有	職種	作編曲家				
担当教員紹介											
日本工学院専門学校サウンドクリエイターコースを卒業後、アーティストへの楽曲提供や映像音楽の制作など歌モノからインストまで多ジャンルに渡り制作を行ってきた経歴がある。											
授業概要											
収録映像での授業を行う。 DAW画面を用いて既存楽曲のコード進行の解説を行う。											
到達目標											
既存楽曲のコード進行を解析してディグリーでコード進行を捉えることができるようにする。 理論と結び付けて考えることでコードに対する理解を深める。 また、習った知識を自分の楽曲に活かせるように別授業で実践に落とし込む。											
授業方法											
オンデマンドでの授業なので各自自宅にて学習を行う。 自宅にDAWがある学生に関してはDAWで実際に打ち込みをしながら動画を視聴するように指示を促す。 授業の最後に課題を提出することで理解を深める。											
成績評価方法											
試験・課題	70%	課題毎に提出。検定試験の受験・点数により評価									
成果発表	20%	授業内に行われるロールプレイング・グループワークにより評価									
平常点	10%	積極的な姿勢									
履修上の注意											
オンデマンド授業のため、各自が理解するまで何度も見返すことを推奨する。 どうしても理解できない箇所に関しては登校日に質問するようにする。 出席率、提出率が4分の3を満たしていない者、4分の3以上出席しない者は、定期試験受験不可、進級できない。											
教科書教材											
動画資料を配布											
回数	授業計画										
第1回	授業の目的を理解してもらうことで共通の目的意識を持ち、授業に取り組む姿勢について確認する										
第2回	コード進行とはどんなものなのかを解説する										
第3回	ダイアトニックコードについての解説とディグリーについて										
第4回	ダイアトニック内のコードを使った楽曲の解説（Ⅰスタート）										
第5回	ダイアトニック内のコードを使った楽曲の解説（Ⅳスタート）										

2022年度 日本工学院専門学校	
ミュージックアーティスト科／サウンドクリエイターコース	
作詞・作曲 1	
第6回	ダイアトニック内のコードを使った楽曲の解説（Ⅵmスタート）
第7回	ダイアトニック内のコードを使った楽曲の解説（Ⅱmスタート）
第8回	ダイアトニック内のコードを使った楽曲の解説（Ⅲmスタート）
第9回	ここまでの復習
第10回	各コードの機能について
第11回	各コードのサブコードについて
第12回	各コードのサブコードについて2
第13回	ドミナントモーションについて 1
第14回	ドミナントモーションについて 1
第15回	前期の復習